

イーストスプリング・
ジャパン中小型厳選
バリュー株ファンド

追加型投信／国内／株式

作成対象期間 2025年7月29日～2026年7月27日

第12期 2026年7月27日決算

日経新聞掲載名：ジャパ中厳選	
第12期末(2026年7月27日)	
基準価額	45,370円
純資産総額	29,352百万円
第12期	
騰落率	48.5%
分配金(税込み)合計	200円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本の金融商品取引所に上場されている(上場予定を含みます。)中小型株に実質的に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

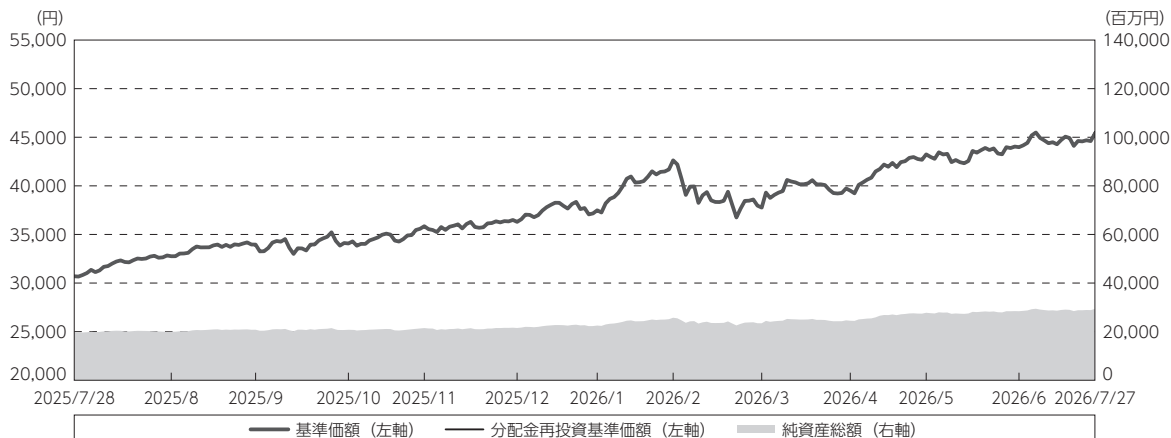
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2025年7月29日～2026年7月27日)



期 首：30,697円

期 末：45,370円 (既払分配金(税込み)：200円)

騰落率： 48.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年7月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

- ・ 保有株式の価格上昇。

1 万口当たりの費用明細

(2025年7月29日～2026年7月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	627	1.678	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(328)	(0.878)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(287)	(0.768)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(12)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	41	0.110	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(41)	(0.110)	
(c) そ の 他 費 用	3	0.009	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(2)	(0.005)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	671	1.797	
期中の平均基準価額は、37,378円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

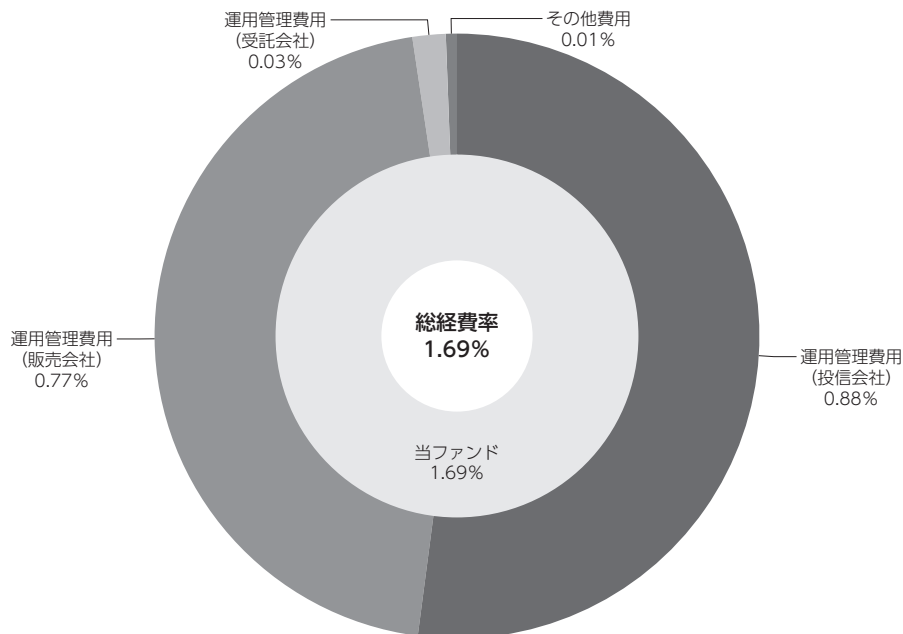
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

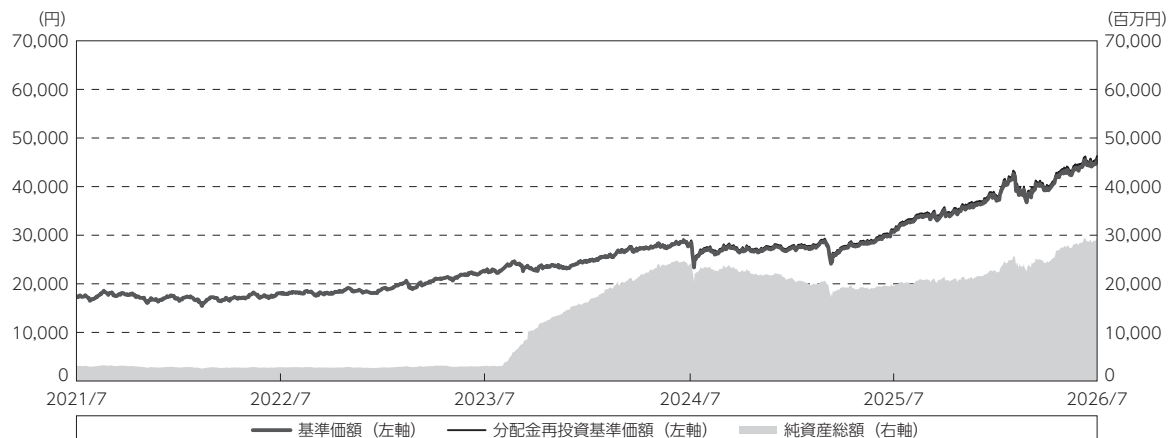
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年7月27日～2026年7月27日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年7月27日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年7月27日 決算日	2022年7月27日 決算日	2023年7月27日 決算日	2024年7月29日 決算日	2025年7月28日 決算日	2026年7月27日 決算日
基準価額 (円)	17,436	18,046	22,499	28,116	30,697	45,370
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	200	200	0	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.5	25.8	25.9	9.2	48.5
純資産総額 (百万円)	3,100	2,834	3,055	24,150	19,610	29,352

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

日本株式市場

期初から米国の利下げや好調なAI需要を背景とした関連銘柄の上昇、2025年10月の自民党総裁選の結果を受けた政策期待や、日銀の早期利上げ観測の後退などを背景に、上昇基調で推移しました。その後も、日本の財政拡張政策期待などを背景に、内需セクターの上昇や、12月の日銀による利上げを無難に通過し、年末に向けて堅調に推移しました。2026年初からはAI関連や防衛関連、エネルギー関連銘柄がけん引したほか、衆議院議員総選挙の結果も材料視され上昇基調を強めました。しかし3月には中東情勢の悪化を背景とした原油価格高騰から、インフレや景気減速への懸念が台頭し、株式などのリスク資産を回避する動きが見られ、株価は下落しました。4月には米国とイランの一時停戦合意報道が好感されたことや、米国の大手テクノロジー企業の四半期決算発表において、AIやデータセンター向けの強気な設備投資計画が発表されたことが好感され、AI関連銘柄の上昇が相場をけん引しました。その後日本の長期金利が約29年ぶりの水準まで上昇したことが一時懸念材料となりましたが、AI需要に対する高い期待や1－3月期決算が好調であったこと、外国投資家の継続的な資金流入にも支えられ、株価は上昇して期末を迎えました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の中小型株に投資を行いました。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

主として日本の中小型株に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指しました。

当期中の投資行動は、株価の変動による割安度の変化などを考慮して、日本電子やオリンパスなどの株式を新たに組入れました。一方で、H.U.グループホールディングスやカネカなどの株式を全売却しました。

パフォーマンスは、SUMCOやおきなわフィナンシャルグループなどの保有がプラスに寄与した一方で、三菱自動車工業などの保有がマイナスに作用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2025年7月29日～ 2026年7月27日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	0.439%
当期の収益	200
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	35,370

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) －印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

企業の長期的な収益をけん引するドライバーは何であることを分析し、さらに現在の株価がどのような懸念を織り込んでいるのかを十分に理解したうえで投資判断を行います。市場が短期的な視点で投資行動を起こす中、我々は長期的な観点から企業業績のトレンドに着目していきます。

当マザーファンドのアプローチでは、テーマに基づく市場の選好を追いかけることは避ける一方、割安とみられる銘柄群の中から、バリュエーションに基づく投資機会を見出します。

日本企業の構造改革は引き続き進展しています。また一部の企業では、コロナ禍以降、その取り組みが加速している事例もみられます。コーポレートガバナンスの改善に対する企業の姿勢と投資家の期待が高まるなか、資本効率の改善に向けた取り組みや株主重視の経営姿勢によって、日本企業のさらなる収益性改善が中長期的なファンダメンタルズを支え続けるとみています。

お知らせ

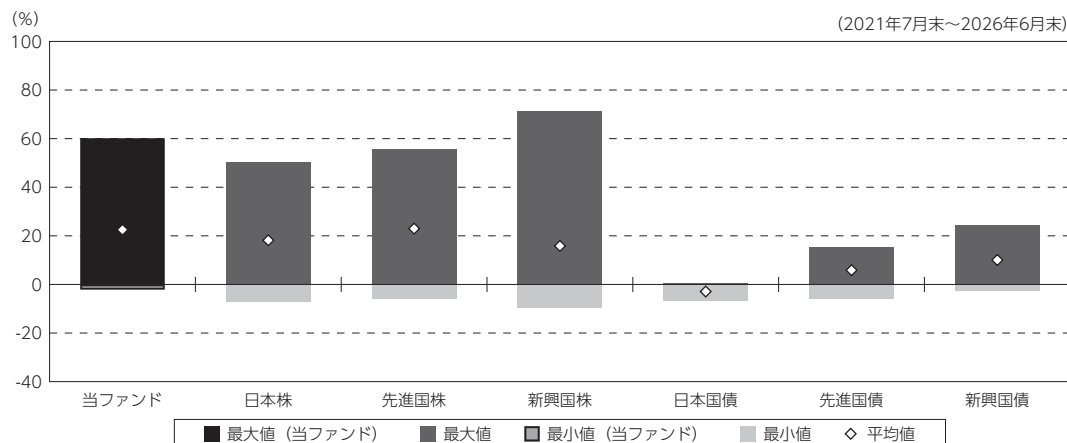
2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式	
信 託 期 間	無期限（2014年8月8日設定）	
運 用 方 針	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・ ジャ ン 中 小 型 厳 選 バ リ ュ ー 株 フ ァ ン ド	イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イ ー ス ト ス プ リ ン グ 日 本 中 小 型 株 式 マ ザ ー フ ァ ン ド	日本の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）中小型株を主要投資対象とします。
運 用 方 法	イーストスプリング・ ジャ ン 中 小 型 厳 選 バ リ ュ ー 株 フ ァ ン ド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
	イ ー ス ト ス プ リ ン グ 日 本 中 小 型 株 式 マ ザ ー フ ァ ン ド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年7月27日。休業日の場合は翌営業日。）に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.2	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 2.2	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	22.5	18.2	23.0	15.9	△ 2.9	5.9	10.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年7月から2026年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI－KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

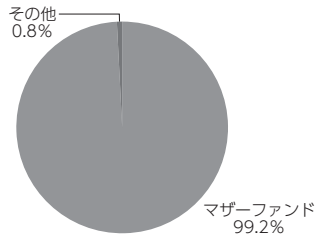
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第12期末
イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド	%
組入銘柄数	99.2
	1銘柄

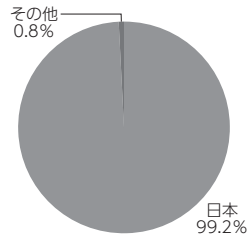
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

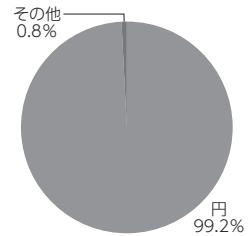
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第12期末
	2026年7月27日
純 資 産 総 額	29,352,267,534円
受 益 権 総 口 数	6,469,507,220口
1万口当たり基準価額	45,370円

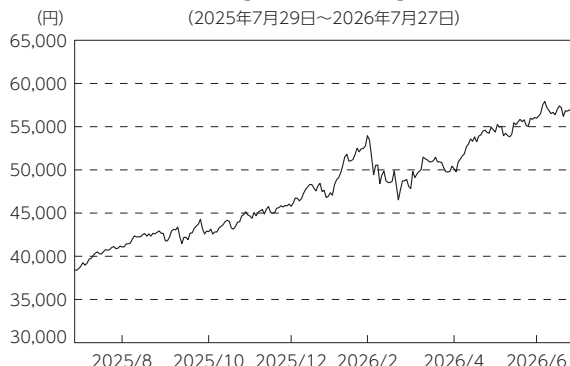
(注) 当期中における追加設定元本額は1,755,568,611円、同解約元本額は1,674,476,971円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング日本中小型株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年7月29日～2026年7月27日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年7月29日～2026年7月27日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	52 (52)	0.110 (0.110)
合 計	52	0.110

期中の平均基準価額は、47,214円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2026年7月27日現在)

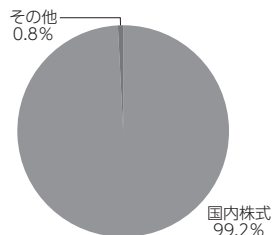
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	おきなわフィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	3.4
2	アインホールディングス	小売業	円	日本	3.0
3	横浜フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	2.9
4	エア・ウォーター	化学	円	日本	2.8
5	関西ペイント	化学	円	日本	2.7
6	日本電子	電気機器	円	日本	2.6
7	オリンパス	精密機器	円	日本	2.6
8	電通グループ	サービス業	円	日本	2.6
9	パイロットコーポレーション	その他製品	円	日本	2.6
10	東京センチュリー	その他金融業	円	日本	2.6
組入銘柄数			51銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

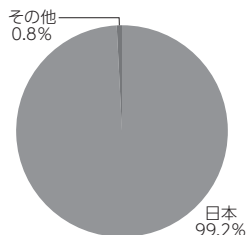
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

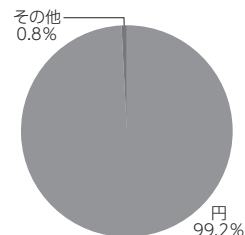
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。